

二〇一九(平成三十一)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

法律学科・地域環境政策学科・企業システム学科・人間福祉学科(心理)(国語)

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 二、この問題は、21ページある。解答用紙は、マーク用と記述用解答用紙がそれぞれ一枚ある。マーク用の解答用紙は【1】～【37】まで使用する。
- 三、試験中に問題の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気がついた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 四、解答用紙は直接機械処理をするので、折り曲げたり、汚してはいけない。
- 五、マーク用解答用紙には、受験番号、氏名、志望学部学科、科目、受験地が印字されているので、間違いがないか確認しなさい。
- 六、筆記用具は、必ず鉛筆(HB)または○・五ミリのHBシャープペンシルを使用し、丁寧に記入しなさい。

また、訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて記入しなさい。

七、マーク問題の解答は、設問ごとに指示してある番号の解答欄にマークしなさい。例えば解答番号【20】という問いに対して③と解答する場合は、よい記入例のようにNo.【20】の解答欄の③にマークしなさい。

○よい記入例

No.	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
【20】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

○悪い記入例(得点にならない)

- 【21】 2ヶ所にマークした
- 【22】 はみだしてマークした
- 【23】 ぬりつぶした

No.	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
【21】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
【22】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
【23】	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

八、試験終了後、問題用紙は持ち帰りなさい。

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、
問題文の掲載は控えさせて
頂きます。
非公開部分については、沖
縄国際大学入試センター窓
口にて閲覧ください。**

〔唐須教光「日常的な記号世界」より一部改変して出題〕

〔注1〕 エドワード・サピア アメリカの言語学者。ネイティブ・アメリカン（アメリカ・イン

ディアン）の言語などを研究した。

問一 傍線部1～5のカタカナについて、正しい漢字を楷書で書きなさい。ただし、送り仮名は不

要である。解答は記述用解答用紙（各1点）

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| 1 | オモムク | 2 | キズかれ | 3 | カクトク | 4 | ザンコク | 5 | ヒンパン |
|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|

問二 空欄

ア

エ

 に入るのにもっとも適切なものを次の①から⑤の中から

選びなさい。解答はマーク用解答用紙 ア【1】 イ【2】 ウ【3】 エ【4】（各1点）

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|---|-------|---|------|
| ア | ① | とはいえ | ② | そして | ③ | つまり | ④ | やはり | ⑤ | その結果 |
| イ | ① | または | ② | けれども | ③ | ゆえに | ④ | 他方で | ⑤ | たとえば |
| ウ | ① | とにかく | ② | しかし | ③ | だから | ④ | あるいは | ⑤ | いわば |
| エ | ① | すなわち | ② | ついに | ③ | ところが | ④ | したがって | ⑤ | むしろ |

問三 空欄 a c に入るのにもっとも適切なものを次の①から⑤の中から

選びなさい。解答はマーク用解答用紙 a【5】 b【6】 c【7】(各2点)

- | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|
| a | ① 連続 | ② 緻密 | ③ 自立 | ④ 欺瞞 | ⑤ 危険 |
| b | ① 破壊 | ② 忘却 | ③ 維持 | ④ 再編 | ⑤ 創出 |
| c | ① 登録 | ② 喪失 | ③ 追加 | ④ 覚醒 | ⑤ 増殖 |

問四 傍線部A「文化の呪縛性が成立するようになる」とあるが、その説明としてもっとも適切な

ものを次の①から⑤の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙【8】(3点)

- ① 人間以外の動物は普通〈本能〉に基づいて行動するのに対して、人間は文化という装置を〈本能〉のように使用すること。
- ② 人間のみが、渾沌の世界の中から文化を生み出すことによって、特異な生物への「進化」を成し遂げたということ。
- ③ 人間は、環境の変化に対しても、文化という装置によって秩序を新たに回復でき、迷いなく行動が可能であること。
- ④ 人間の創り出した文化という装置は社会制度化され、人間そのものの行動を規制する存在となってしまうこと。
- ⑤ 人間は、創り出した文化の枠内のみでしか行動できないために、第一の自然に対しては自由に振舞えないということ。

問五 空欄 B の中に入る文としてもっとも適切なものを次の①から⑤の中から選びな

さい。解答はマーク用解答用紙【9】(3点)

- ① 異なる社会が生きている世界も全く同じ客観的世界であり、われわれがいま見ているものとほとんど共通している
- ② 異なる社会が生きている世界は互いに似たような世界であり、その差異というものは人間にとって取るに足らない
- ③ 異なる社会が生きている世界は別の世界なのであり、単に異なるレッテルが付けられた同一の世界ではない
- ④ 異なる社会が生きている世界は理解できないと考えるべきで、異文化間の相互理解への道は困難をきわめる
- ⑤ 異なる社会が生きている世界との交流は、現代に差し迫った課題であり、多文化という観点を必然的にもたらず

問六 傍線部C「両義性」についての説明として、もつとも適切なものを次の①から⑤の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙【10】(3点)

- ① 人間が自然に対して秩序を与える部分で、文化的な装置として機能し、人間の安定的な社会生活を保障するもの。
- ② 文化の行なう分類からはみ出している部分で、それらを受容することによって、既成の秩序を安定化へと導くもの。
- ③ 禁忌の対象と言うよりは、社会的な圧力を受けることが問題となる存在で、差別問題解消の糸口となるもの。
- ④ 無意味と意味の境界領域を占める部分であり、人間が無意味な世界から意味ある世界へと脱却するためのもの。
- ⑤ 人間が恣意的に創り出した記号体系には収まらず、既成の秩序の中ではいずれに分類してよいか分からないもの。

問七

空欄

D

の中に入る文としてもつとも適切なものを次の①から⑤の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙【11】(3点)

- ① その危険を予め十分に察知するためには、これまでの既存の秩序について意識的に認識しておくべきである
- ② その危険を前もって阻止するためには、現存の秩序をたびたび確認することが必要になってくるのである
- ③ その危険から新秩序を創り出すためには、危険であるものを危険でないものに無力化しなければならぬ
- ④ その危険が秩序を乱すことを認めた場合は、新秩序への移行を真剣に考えなければならぬのである
- ⑤ その危険が内部にあることを認識したうえで、その危険性を外部へと押しやることが検討されるのである

問八 傍線部E「反文化とも言うべき自然＝渾沌に頼るしかないのである」の説明として、もっとも適切なものを次の①から⑤の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙【12】（4点）

- ① 人間文化を象徴してきた〈祭り〉が形骸化した文化となるなかで、日常の秩序が機能しない状況を提示しなければならない。
- ② 自然はそもそも渾沌とした状態であるが、人間が文化という装置を発達させてきたために、今日では秩序として把握される。
- ③ 形骸化した文化、すなわち、既成の秩序を意識させるためには、その秩序が否定されているような状態を提示する必要がある。
- ④ ある人間集団の創り上げた文化が、別の人間集団との対立により反文化が生み出され、それらを互いに統合する必要に迫られる。
- ⑤ 既成の文化を否定し、自然＝渾沌を反文化と認識することで、〈祭り〉以前の自然＝渾沌の状態に立ち返らなければならない。

問九 本文の内容と合致するものを次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙【13】（4点）

- ① 人間が創り出した文化は、集団による承認によって社会制度化されるが、個人の中では自然と直に向き合うことで新しく世界を意味づけることができる。
- ② 人間は、全人類が持っている言語という文化を通して世界を見ているが、言語という秩序に縛られた記号体系を除けば、あるがままの世界が立ち現れる。
- ③ 人間は、渾沌から解放されるために、文化という装置に依存するという生存形態を選んだが、最終的には自然に戻るという進化過程の途上にあると言える。
- ④ 人間の文化は、社会集団の中で恣意的に創り出した記号体系を基盤とするが、その記号体系から逸脱するものを安定的に取り込む技術も確立させている。
- ⑤ 人間は、文化という装置で意味のある世界という秩序を創り出しているが、その存在基盤は儀礼や〈祭り〉などによって絶えず確認するように迫られている。

Ⅱ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

- a 甲う b 譲渡 c 殺生 d 気配 e 勧告

問一 二重傍線部 a～e の読みをひらがなで書きなさい。ただし、送り仮名は不要である。解答は記述用解答用紙（各1点）

（森絵都「犬の散歩」より一部改変して出題）

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。
非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

問二

ア

オ

に入るもつとも適切な語句を、次の①から⑨の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙 ア【14】イ【15】ウ【16】エ【17】オ【18】（各1点）

- | | | | | |
|------|------|-------|------|-------|
| ① 耳 | ② 破綻 | ③ 決定的 | ④ 目 | ⑤ 断定的 |
| ⑥ 足下 | ⑦ 覚悟 | ⑧ 度胸 | ⑨ 中止 | |

問三

二重傍線部 f、h の意味としてもつとも適切なものを、次の①から⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙 f【19】g【20】h【21】（各2点）

f 百聞は一見にしかず

- ① 何度も話を聞くことには意味がなく、実際に一度見ることに意味がある。
- ② 実際に一度見ることに意味がなく、何度も話を聞くことに意味がある。
- ③ 何度も話を聞いた上で、実際に一度見ておく必要がある。
- ④ 何度も話を聞いておけば、実際に一度見たときに理解が深まる。
- ⑤ 何度も話を聞くよりも、実際に一度見るほうがよく理解できる。

g 尻ぬぐい

- ① 他人の借金を肩代わりすること。
- ② 他人に迷惑をかけられること。
- ③ 他人の用便の後始末をすること。
- ④ 他人の失敗の後始末をすること。
- ⑤ 他人の世話を押しつけられること。

h 自己責任

- ① 自分が周囲に対して果たすべき責任。
- ② 自分の判断がもたらした結果に対して負うべき責任。
- ③ 自分が自分自身に対して果たすべき責任。
- ④ 自分のことには自分で責任を持つという主張。
- ⑤ 他人に迷惑をかけてはいけないという主張。

問四

傍線部A「それでも、実際に犬たちの収容場所へと足を踏み入れる段になると、尚美は急にひどく頼りなげな顔をして、その鼓動が伝わるほどに大きな深呼吸をした」の説明としてもっとも適切なものを次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙【22】（4点）

- ① 収容センターをしばしば訪れている尚美であっても、実際に命の期限が設けられている犬の前に立つことは強い緊張を伴うため。
- ② 収容センターをしばしば訪れている尚美はこれまで限られた命しか助けることはできなかったが、今度こそすべての犬を助けようと決意を固めているため。
- ③ 収容センターをしばしば訪れている尚美であっても、ここから出してほしいと懸命に訴える犬たちを無視するのは辛いことであるため。
- ④ 収容センターをしばしば訪れている尚美は、犬たちが自分を飼い主と勘違いしてすり寄ってくるやりきれなさを知っているため。
- ⑤ 収容センターをしばしば訪れている尚美であればこそ、犬たちの前では動揺した顔を見せられないと気合いを入れているため。

問五

傍線部B「犬にも感情があるのだ。ごく当然のその事実を、よりによってこんな場所で恵利子は初めて突きつけられた」の説明としてもっとも適切なものを次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙【23】（4点）

- ① 犬に感情があるかどうかなどこれまで考えたこともなかった恵利子は、犬に感情があることを初めて知らされて暗い気持ちになっている。
- ② 犬にも人間同様に感情があるということを認めた恵利子だが、その犬たちが殺処分されてしまったという運命に絶望している。
- ③ 死の淵に立たされた犬たちのさまざまな感情表現に直面した恵利子は、犬の命も人間同様に大切にしなければならないと感じ始めている。
- ④ 犬は犬にすぎないと思っていた恵利子だが、人間よりも生々しい感情表現をする犬たちに気圧され、これまでの認識を悔い改めている。
- ⑤ 死の淵に立たされた犬たちの態度や振る舞いから、犬にも感情があるということを感じ取ってしまった恵利子は、そのことに強い衝撃を受けている。

問六

傍線部C「いや、私はすでに関係してしまったのだ、と。もしかしたら生まれて初めて自ら進んで関係することを選んだのだ、と」恵利子が思ったのはなぜか。理由としてもっとも適切なものを次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙【24】（4点）

- ① これまで自分には何もできないと思い込み、重い問題から目をそらしてきた恵利子だが、収容センターに実際に足を運んだことで処分される犬たちと自分の関係がはじまったと感じている。
- ② 平凡な主婦にできることなどないと思い込んでいた恵利子だが、収容センターで出会った犬たちの姿をくつきりと思い出すことのできる自分に驚き、犬と自分はすでに無関係ではないと感じている。
- ③ 主婦としての平凡な日常に飽き飽きしていた恵利子は、収容所で出会った犬たちを少しでも多く救うことこそ自分が力を傾けるべき仕事なのだと確信している。
- ④ これまで自分には何もできないと思い込んでいた恵利子だが、収容センターに実際に足を運び、現実を直視することで、自分以外のもののために力を尽くすきっかけをつかんだと感じている。
- ⑤ これまで自分には何もできないと思い込んでいた恵利子だが、処分される犬たちという無力な存在に直面し、自分にもできることがあるはずだと感じている。

問七

傍線部D「それは自分ではなく、自分とよく似た誰かの声であるにもかかわらず、恵利子は何んとも言いがたい羞恥の念に襲われた」の理由としてもっとも適切なものを次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙【25】（4点）

- ① イラクで拉致された日本人は自分以外の誰かのために行動したのだと捉えている恵利子は、自分も含め何もしない人々から批判ばかりされている彼らをかわいそうだと感じている。
- ② イラクで拉致された日本人の行動がもたらした結果だけを見て批判する人々を間違っていると感じた恵利子だが、その場で反論できなかったことを恥ずかしく感じている。
- ③ イラクで拉致された日本人に対して批判的な意見を持っていた恵利子は、ランチをしながら彼らを批判する言葉を聞いて自分の心の中を言い当てられたように感じ、動揺している。
- ④ ランチを楽しみながらイラクで拉致された日本人の行動を批判する人々と自分に類似性を見出した恵利子は、安全な場所から他者を批判することを恥ずかしく感じている。
- ⑤ 過去に自分も安全な場所から他者を批判する発言をしたことを思い出した恵利子は、イラクで拉致された日本人に対して後ろめたさを感じている。

問八 この文章における表現と内容の特徴についての説明としてもっとも適切なものを次の①から

⑤の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙【26】（3点）

- ① 会話を多用することによって犬猫の殺処分という重い問題を軽妙に表現し、読者の興味をそらさないという効果をもたらしている。
- ② 犬猫の収容センターを舞台とする前半に対して、後半ではイタリアンレストランを舞台として明るい日常が描かれている。
- ③ 会話は主人公が直面した状況を表現するものとなり、地の文は主人公の心情の変化を中心に示すものとなっている。
- ④ 殺処分の対象となった犬の目線からの描写を徹底することにより、無責任に犬を捨てる人間の身勝手さを強く批判している。
- ⑤ 会話文にことわざを用いるという工夫をこらし、知的な会話を好む登場人物の性格を表現している。

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。**

**非公開部分については、沖縄国際大学入試セ
ンター窓口にて閲覧ください。**

**著作権承諾上の理由により、
問題文の掲載は控えさせて
頂きます。
非公開部分については、沖
縄国際大学入試センター窓
口にて閲覧ください。**

〔高橋源一郎「表と裏と表——政治のことばについて考えてみる」

内田樹編『転換期を生きるきみたちへ』より、一部改変して出題〕

問一

空欄

ア

イ

れ一つ選びなさい。解答は、マーク用解答用紙 ア【27】イ【28】（各1点）

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|------|---|------|---|-----|---|--------|
| ア | ① | それゆえに | ② | あるいは | ③ | なぜなら | ④ | つまり | ⑤ | けれども |
| イ | ① | たとえば | ② | ならば | ③ | ところで | ④ | しかし | ⑤ | もしかしたら |

問二

空欄

I

から

IV

それぞれ一つ選びなさい。解答は、マーク用解答用紙 I【29】II【30】III【31】IV【32】（各2点）

- | | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ① | 途中 | ② | 原因 | ③ | 抽象 | ④ | 結論 | ⑤ | 具体 | ⑥ | 計算 |
| ⑦ | 確率 | ⑧ | 根拠 | ⑨ | 前提 | | | | | | |

問三

空欄

X

に入る記述としてもっとも適切なものを、次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答は、マーク用解答用紙【33】（3点）

- ① 神さまが、あなたのタネを、ママのお腹に埋め込んで、それが育って、お腹が割れて
- ② コウノトリが運んできたタネを、ママが飲み込んで、それが育って、お腹が割れて
- ③ 神さまが、ママのお腹を割って、あなたのタネを、ママのお腹に埋め込んで
- ④ ママのお腹であなたのタネが育って、神さまが、ママのお腹を割って
- ⑤ ママのお腹が割れて、神さまが、あなたのタネを、ママのお腹に埋め込んで

問四

傍線部A「『ねえ、どうして学校に行かなくやいけないの?』」とあるが、子どもへのその回答としてもっとも適切なものを、次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答は、マーク用解答用紙【34】（4点）

- ① 親には子どもへの教育の義務が、子どもには学校に行く義務が法律で定められているから。
- ② 幼少期に学校に行かずに、家で生活しているだけでは時間の無駄遣いであるから。
- ③ 学校ではたくさんのが学べて、それが生きていく上で役に立つことばかりだから。
- ④ 学校は、社会に出たときに起こりうる様々な事柄に対応する準備の場だから。
- ⑤ 慣習としてみんな学校に行くことになっているのに、一人だけ行かないのはおかしいから。

問五

傍線部B「この自分の回答を読んで、わたしは『まずいな、これ』と思うのである」とあるが、その理由としてもっとも適切なものを、次の①から⑤の中から一つ選びなさい。解答は、マーク用解答用紙【35】（4点）

- ① 述べた回答が、多数の人からの共感を得られるような内容ではないと感じたから。
- ② 述べた回答が、一生懸命考えて出したものではなく、実は適当に答えてしまったものであったから。
- ③ 述べた回答が、かつて考えた内容を思い出して回答してしまったものであったから。
- ④ 述べた回答が、質問者の意に反した内容だと感じたから。
- ⑤ 述べた回答が、今の時点で考えると、自分にとって間違った内容に感じたから。

問六 傍線部C「アイ・ホープ・ソウ。 そうだったら、最高だよね」とあるが、その理由としてもっとも適切なものを、次の①から⑤の中から一つ選びなさい。 解答は、マーク用解答用紙【36】（4点）

- ① 毎回違った回答をすることは、一生懸命に考えていることのあらわれだと思われるから。
- ② 毎回違った回答をすれば、自分自身が知性を感じられて満足できるから。
- ③ 毎回違った回答をすれば、いつかは多数の人から共感を得られる回答にたどり着けると思うから。
- ④ 毎回違った回答をすれば、質問者に対して知性を示すことができるから。
- ⑤ 毎回違った回答をすることは、いろいろな経験をし成長して考えたことのあらわれだと思うから。

問七 本文の内容に合致するものとしてもっとも適切なものを、次の①から⑤の中から一つ選びなさい。 解答は、マーク用解答用紙【37】（5点）

- ① 子どもは、大人に比べてよく考えるから、大人に対して沢山の質問をする。
- ② 子どもからの質問に対する完全な回答の準備がなくても、人は何かしらの回答をするべきである。
- ③ 人は、自分の死を意識するような場面に直面しないと、考えることをしない。
- ④ 人から何か質問をされたとき、完全な回答の準備がないのならば、回答しない方が得策である。
- ⑤ 本当に真剣なものごとを考えるときには、人は腕を組んだり、眉をしかめたり行為を伴ってしまう。